

◆ 第64回関東東海花の展覧会開催

1月30日（金）～2月1日（日）、東京池袋サンシャインシティ文化会館において、第64回関東東海花の展覧会が開催された。（当番県 茨城）

出品は1,782点で、本県はバラ、きく、カーネーション、ゆり、トルコギキョウ、洋蘭など128点を出品。入賞は金賞4点、銀賞12点、銅賞16点とあわせて32点となった。



◆ 畜産部会開催

2月3日（火）、農協会館にて畜産部会を関係者団体の出席により開催した。

①とちぎ和牛取扱指定店・提供店と生産者との交流会 ②とちぎ和牛認定制度 ③PR事業などについて協議が行われ、今後とも県産畜産物の更なるブランド化・消費拡大に取り組むことを確認した。

◆ 栃木県冬春トマトグランプリ審査(1回目)

2月4日（水）～5日（木）にかけて、県・全農・当協会などの審査員が第8回栃木県冬春トマトグランプリの1回目審査を行った（9JA、11ほ場）。審査は品質・収量性・生育状況・病害虫予防・ほ場環境等の立毛審査と食味等の品質審査を実施した。2回目の審査（3月下旬予定）、7月の最終審査会を経てグランプリが決定される。



◆ とちぎ花フェスタ2015 in おやま&栃木県花の展覧会

2月7日（土）～9日（月）、小山市で「とちぎ花フェスタ2015 in おやま」、「栃木県花の展覧会」が開催され、来場者は33,000人となった。

今回のテーマは「届けます 思いを込めて 花と心のおもてなし」とし、「見る・学ぶ・遊ぶ・味わう・体験する」といったコーナーを設けて来場者は花いっぱいの会場でふれあう一日となった。

また、栃木県花の展覧会では、スプレーぎく、バラ、ゆり、トルコギキョウ、洋蘭など約209点が展示され、来場者を魅了した。農林水産大臣賞には、一般鉢物の部で真岡市の仙波勉氏が受賞した。



◆ 第3回とちぎ農産物モニター交流会開催

2月14日（土）パレスホテル大宮で、栃木県産農産物を応援する首都圏の消費者を対象に、第3回とちぎ農産物モニター交流会を開催し約50名が参加した。

第1部では、「知って！見て！食べて！やっぱり栃木産～知っているようで知られていない栃木県産農産物美味しいひみつ～」をテーマとした生産者（2名：JAはが野柳いちご農業士会会長、JAグループ栃木和牛販促委員会松本副会長）の農業への拘りや栽培方法のトークや実需者（パレスホテル大宮洋食レストラン毛塚総括料理長、ホテルエピナル那須菅井総料理長）による県産農産物の美味しさについてのトークにより、栃木県の農業への理解促進を図った。

また第2部では、とちぎ和牛やなすひかりなどのリーディングブランドをはじめ、県産農産物を使用したオリジナルメニュー（35品）が提供され、アンケート回答者にはスカイベリーがプレゼントされるなど県産農産物のイメージアップ及び消費拡大を図った。



◆ こんにゃく生産流通改善研究会開催

2月17日（火）、宇都宮市内にて、こんにゃく生産者およびJAや県関係者など約60人が参加し「こんにゃく生産流通改善研究会」を開催した。今回は、群馬県から田口農園の田口代表から、産地の特色を生かした6次化への取り組みや商品開発への取り組みについてご講演いただき、大変参考となった。

また、県経営技術課渡邊専技より、「こんにゃく低コスト栽培技術」および「みやままさり異株対策」について講演いただいた。なお、この異株対策については今夏の現地検討会でもテーマとして取り上げる予定。



◆ 「とちぎ和牛」取扱指定店・提供店と生産者との交流会

2月23日（月）、二荒山会館にて「とちぎ和牛」取扱指定店・提供店と生産者との交流会を45名の参加者を得て開催した（JA全農とちぎとの共催）。（株）ただいま佐藤社長の「とちぎ和牛のブランド推進について」講演が行われ、その後の意見交換では「とちぎ和牛」のブランド力向上と消費拡大を図るための対応等について、参加者から活発な議論が行われた。



いちご王国グランプリほ場審査



2月24日(火)・26日(木)の2日間、県・全農・当協会などの審査員が第9回いちご王国グランプリほ場審査を行った(10JA、13ほ場)。今回の審査では生育状況・着果状況・管理状況・病害虫の発生状況が審査され、いわゆる立毛の状態がよいものが上位となる。

今回は、4月に第2回の品質審査、6月に収量審査が行われ、1月の第1回品質審査とトータルしてグランプリが決定されることになる。

特産料理講習会を開催

2月23日(月)・2月27日(金)と2回、特産料理講習会を開催した。宇都宮市消費者友の会の会員をはじめ、各回とも35名の会員が参加し、郷土料理研究家の高島操先生のもと、かんぴょう・こんにゃく・落花生を使った料理を作った。メニューは「かんぴょうサラダ・さしみこんにゃくのくず切り風・落花生入り根菜汁・ヤシオマスづけ丼」の4品。各々の食品の栄養価値を知り、普段と違った調理方法で特産料理を味わい、参加者たちは楽しんだ。



平成27年度「とちぎフレッシュメイト」(14代目)募集

とちぎブランド農産物のイメージアップと効果的な普及・浸透をはかるため、県産農産物のイメージキャラクターとして、平成27年度の「14代目とちぎフレッシュメイト」を募集しています。県産農産物のイメージキャラクター「とちぎフレッシュメイト」は、県内や県外で行われるイベントなどに参加して、「とちおとめ」や「とちぎ和牛」、「なすひかり」など、たくさんのとちぎの農産物をPR・販売し、とちぎの良さや栃木県産農産物の美味しさを消費者の方々伝える活動をしていただきます。

任 期：平成27年6月1日から平成28年5月31日までの1年間
 応募資格：栃木県在住で、18歳から29歳までの健康で明るい方
 締 切 日：平成27年4月30日火曜日

とちぎが大好きで、とちぎのために何かしたいと思っている方がいたら
 どんどんご応募ください。

応募に関する詳しいお問い合わせは、とちぎ農産物マーケティング協会まで。



☆☆「とちぎの旬彩店」の新しい仲間 ☆☆

店舗名	住所	電話番号	代表者
一揆 多摩センター	東京都多摩市落合1-8-1 ウイステリアビル6F	042-339-7733	店長 三浦 良介
焼鳥×和酒 遊	東京都千代田区飯田橋1-9-5 SKBビル1F	03-3221-1344	店主 田上 裕一

今後の予定

2日(月)	とちおとめ目揃会(農協会館第5会議室) スカイベリーコンソーシウム総会(農協会館第3会議室)
3日(火)	栃木にら生産技術セミナー(農業試験場)
4日(水)	なすとらん会議(ホテルエピナール那須)
5日(木)	協会幹事会 スカイベリー第3回目揃会(宇都宮市：二荒山会館)
6日(金)	スカイベリー生産連絡協議会目揃会・現地検討会(那須町)
10日(火)	協会理事会(農協会館第5会議室)
13日(金)	フードバレーとちぎ観光地商談会(きぬ川ホテル三日月)
18日(木)	スカイベリーメニュー研修会(ホテルエピナール那須) 栃木県稲麦大豆安定生産推進会(宇都宮市：県庁昭和館)
23日(月)～24日(火)	トマトGP品質審査
27日(金)	協会総会



一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会(平成27年3月発送)

TEL 028-626-2150 FAX 028-643-7853

<http://www.tochigipower.com/>

